

(様式第 11 号) (第 14 条関係)

令和 6 年度 「みんなの力でつくるまち」活動支援事業評価報告書

事業名	旧軽井沢および軽井沢での景観育成住民協定の支援、および軽井沢の自然・歴史・文化への理解普及活動
団体名 (連絡先)	旧軽井沢の歴史と景観を守る会 代表者 谷村秀彦
総事業費	1,257,351 円(うち補助金:250,000 円)

事業内容

- (1) 旧軽井沢および軽井沢での景観育成住民協定の支援（既に景観育成住民協定が成立した 5 地区および新たに成立を目指す地区に対する専門的な支援。協定内容の理解普及、登記情報確認、法律意見確認、行政との折衝、総会開催、事前協議進行支援、参加者間の交流等
- (2) 軽井沢の自然・歴史・文化への理解普及活動（「歴史と文化シリーズ」）の開催（令和 6 年度は 4 回開催



歴史と文化シリーズ

事業効果

- (1) 旧軽井沢および軽井沢での景観育成住民協定の支援 協定内容の理解普及、行政との折衝、事前協議進行支援、参加者間の交流等を通じ、より実態に応じた理解と対応を進めることが出来てきている。従来の活動ではなかった具体的効果を認識しています。
- (2) 「歴史と文化シリーズ」等の開催を通じ、軽井沢の歴史や文化、守るべき価値についての議論が、住民、別荘民、関係者の間でより深まってきていると思われます。

【目標・ねらい】

- 景観協定内容の理解普及
- 自然保護対策要綱の遵守
- 軽井沢の歴史・文化の理解
- 参加者間の意見交換・交流

自己評価（目標達成率）[A]

今後の取り組み

さらに、(1)旧軽井沢および軽井沢での景観育成住民協定の支援と、(2)「歴史と文化シリーズ」等の開催を通じた軽井沢の歴史や文化、守るべき価値についての議論を進めます。

軽井沢町における自然保護対策や、景観行政、都市計画等との関係で、さらに軽井沢の価値をより高いレベルで継承し、発展させてゆくための、具体的かつ建設的な議論や提案が出来るように、関係者との協議を重ねていきたいと存じております。

※自己評価欄は「A」 90%以上「B」 70～89%「C」 50～69%「D」 49%以下で示すこと。